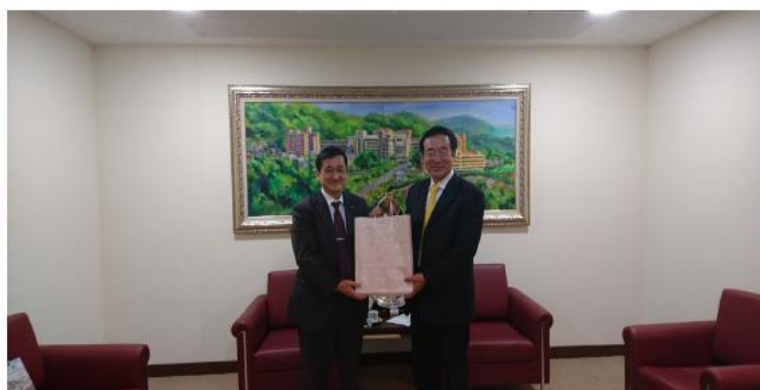

中台科技大学訪問と第51回中華民国 医事放射学会学術大会に参加しました



3月7日（水）～12日（月）本学教員3名と学生11名が台湾・台中および嘉義市を訪問しました。今回の渡航目的は、学術交流協定先である中台科技大学での授業聴講・ヨガを通して国際交流を図ること、また嘉義市で行われた第51回中華民国医事放射学会学術大会に参加し、診療放射線学科3年生の3名が口頭発表3演題を行うことです。

DAY 1

羽田空港から出発し、台北・松山空港に到着。気温は25℃を上回っていてとても暑い日でした。地下鉄、新幹線、在来線を乗り継ぎ、夕方に台中のライライホテルに到着。到着後、中台科技大学の関係者とロビーで翌日の打ち合わせを行いました。



台湾で移動中の様子



台北駅にて

DAY 2

中台科技大学医療健康産業管理系の許哲瀚所長の英語による講義を聴講しました。中台科技大学と本学は、2015年10月に学術交流協定を締結しており、今回講義をご担当いただいた許先生は、昨年6月にEMBAの教員および大学院生と共に本学に来訪しました。英語による講義で東日本大震災における医療従事者の緊急時対応や台湾における緊急時対応について学びました。

昼食は、去年6月に本学に来訪した学生たちと再会し、一緒に食事をしました。お互いに顔を覚えており、緊張することなく会話を楽しみました。午後は大学内のジムでトレーナーに指導を受けながら本学学生と教員がヨガ体験をしました。



講義後の様子



ヨガ体験

DAY 3

台中から嘉義市へ在来線で移動。昼頃ホテルに到着、チェックイン後、ランタンフェスティバルに参加するなど自由な時間を過ごしました。



嘉義駅のホーム



ランタンフェスティバルの様子

DAY 4

終日自由行動。学会発表を行う学生は、ホテルで発表の最終確認をしました。学生4名、教員3名が、学会の前夜祭に参加しました。台湾の踊りを見ながら食事を行い、楽しい時間を過ごしました。



パーティー会場にて①



パーティー会場にて②

DAY 5

「中華民国医事放射学会学術大会」にて診療放射線学科3年の学生3名がそれぞれ口頭発表を行いました。昨年も同学会で同じ学生たちがポスター発表をしており、2年連続で英語による実績を積むことができたのは貴重な経験でした。



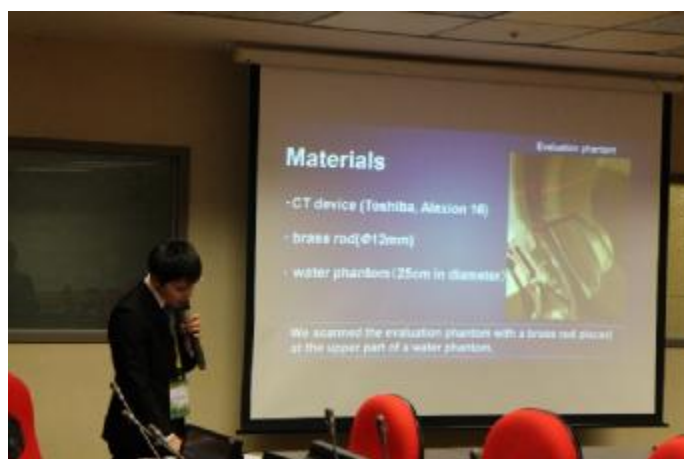
学会会場前で集合写真



学生の口頭発表の様子①



学生の口頭発表の様子②



学生の口頭発表の様子③

発表した学生の感想

- 発表を終えて、「もっと発表練習をして、質問への対策もよく考えておくべきだった」、「言われていることは大体わかるけど、完全にはわからないな。もっとスピーキングとリスニングの英語勉強が必要だな」と思いました。
- 発表は緊張したもののマイクを持つと堂々に行えました。質疑応答は課題が残るものとなりよりいっそう、英語への意欲、次の国際学会の口頭発表への意欲が高まった。
- 7分間英語で話しつづけることは意外にも疲れると感じた。英語での口頭発表で一番苦戦したことは、質疑応答において質問者からの英語を的確に聞き取り理解すること、またその質問に対して、的確に英語で返答を行うことであった。

DAY 6

飛行機に乗る前に台北の西門町に立ち寄り、小籠包などを食べ台湾文化にも触れました。



小籠包と魯肉飯（ルーローハン）



フルーツシャーベット

参加した学生は、多くの人と交流しお互いの今後の目標など話し合い、再会を誓いました。今後さらなる国際化に向けてよい刺激を受けました。